

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所)

事業者名	グループホーム日吉 A棟	評価実施年月日	平成19年7月3日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名	後藤 さとみ	記録年月日	平成19年6月27日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域密着を考えた理念に変更はしておりませんが、地域との繋がりが増えてきています。</p>	○	<p>当ホームは、平成13年5月に開設し、ケア理念もその当時のまま運営しておりますが時の流れと共に、認知症の介護或いはグループホームに求められるものは変化してきました。今後現在のケア理念を軸に各フロア独自の理念を新たに設けます。</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>すべての職員が、ホームのケア理念を述べることができ、常にケア理念の実現に取り組んでいる。</p>	○	<p>当ホームは、平成13年5月に開設し、ケア理念もその当時のまま運営しておりますが時の流れと共に、認知症の介護或いはグループホームに求められるものは変化してきました。今後現在のケア理念を軸に各フロア独自の理念を新たに設けます。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ホームのケア理念を利用案内時の説明文書及びホームの見やすいところに明示しています。</p>	○	<p>当ホームは、平成13年5月に開設し、ケア理念もその当時のまま運営しておりますが時の流れと共に、認知症の介護或いはグループホームに求められるものは変化してきました。今後現在のケア理念を軸に各フロア独自の理念を新たに設けます。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>いつでも来訪していただけるように、近所の散歩に出かけた時など声掛けをしたり、近所の方にお声を掛けさせて頂いております。又最近の事ですが子供たちが立ち寄るようになってきました。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会に加入し、行事参加も行っています。</p>	○	<p>当ホームの地域には、AEDが設置されている所が少なく(消防本部による)今後町内や地域の皆様にAEDの設置をお知らせし地域貢献の足がかりにして行きます。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域の福祉会館（町内会館）より行事ごとへの参加の誘いを受けている</p>	○	<p>今後町内の一員として、介護サービスや認知症の理解或いは相談が気軽に出来る開かれたグループホームになる事を目指します。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう、地域に対する運営理念の啓発・広報に取り組んでいる。	当ホームは、平成13年5月に開設し、ケア理念もその当時のまま運営しておりますが時の流れと共に、認知症の介護或いはグループホームに求められるものは変化してきました。今後現在のケア理念を軸に各フロア独自の理念を新たに設けます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、まだ行っていない	○ 現在、町内会、民生委員、家族等に実施に向けて説明をしている現状。8月を目処に会議日時を調整中。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	現状は、書類提出等に市役所に訪問し、ホームでの出来事や介護保険制度上の情報交換を行なっている。	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	現状は学ぶ機会を持っていない。	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	現状は改めて法についての勉強会を実施はしていないが、日々の業務の中で管理者はじめ介護スタッフがお互い目配りしながら介護にあたっている現状。	
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に契約内容、利用者や家族に対し説明を行います。併せて契約書を家族に渡し内容を読んでいただき家族が不明な点或いは疑問点があれば随時お答えし理解と納得を得た上で契約を取交します。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>		○	外部委員会の設置を検討して行きたい
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	家族の来館時に日々の生活状況を伝えたり、ヒヤリハットなどの報告は電話を利用して必ず報告をしています。スタッフの異動などについて、請求書等の送付時に新しいスタッフが増えた事などをお知らせしています。		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ご意見箱の設置を行っています	○	外部委員会の設置を検討して行きたい
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>		○	充分とは言えないが、日々の業務のなかで意見や疑問点について提案を聞き内容によっては、検討し反映させて行く考えです。
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	利用者の状態により、各シフト出退勤時間のスライドを必要時に行っています。		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	異動については、ご利用いただいている方々の事を考え必要最小限に留めると共にある程度時間をかけ行っていますが、離職の場合、留意し離職日の延長などをお願いしていますが自己都合による事由の場合、は回避できません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	外部の研修に参加	○ 近隣および関連のあるグループホーム等と協同で事例発表会や外部講師等を招くなどして研修を行いたい。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	連絡協議会を通じ、各施設の管理者との交流やネットワークも出来つつある。	○ 近隣および関連のあるグループホーム等と協同で事例発表会や外部講師等を招くなどして研修を行いたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	月間の勤務日数・時間の短縮を行っています。	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		○ 各自が向上心を持つ為に、関連GHとの交流の機会を増やしてゆきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	本人が安心して話ができるばしょでゆっくりとはなしを聞くよう心がけている	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ゆっくりと面談できる機会を設け必要に応じては、本人を抜き意見を聞くこともある。特に兄弟が多い場合には、配慮しています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況に応じ様々なサービス内容を提供できる様心がけています。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	出来る限り本人も含め見学していただき、お茶などを飲みながら雰囲気をかんじてもらえる様心がけています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	ホームの理念として掲げられて居る様に「一人一人その人に合った…」一緒に生活できる様配慮しています		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	本人の生活状況を包み隠さず話すことと本人の前で一緒に話をし一緒に支えるという姿勢で臨んでいます。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族の橋渡しをしながら良い関係が保てる様、情報提供を行い、肩のちからを抜きコミュニケーションとれる様配慮をしています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族も含め協議した中で今までの関係が途切れない様配慮をしています。。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	一人一人の性格や特徴を分析しながら対応しています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。		○	サービス終了後も関わりを必要とする方には、情報発信や行事等のへお誘いを行って行きたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に要望を聞きながら、その人らしく、出来るだけ在宅で生活している時と同じように すぐせる配慮をしている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	常に要望を聞きながら、その人らしく、出来るだけ在宅で生活している時と同じように すぐせる配慮をしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人一人のアセスメントシート(日常生活の記録)をとうして把握するようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		○	介護計画書を遅れないように作成してゆきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画作成にあたりあたり家族の意見を必ずお聞きし作成しています。	○	介護計画書を遅れないように作成してゆきたい。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のアセスメントシート、記録を通し反映させています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。		○	協同めざし、地域の消防署による救命救急講習会を当ホームで開催したり、地域の民生委員の会合に行きご挨拶を行ったりしながら関係づくりを行っています。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域の他事業者などと連携を持ち、グループホームで利用できるサービスの情報提供を利用出来るよう配慮しています。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。		○	今後権利擁護やケアマネジメントについて協同してゆく考えです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医療機関にかぎり、様々な相談を聞いていただいています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。		○	相談があった場合専門医がいる医療機関を紹介しています。(認知症専門医師が少ない)
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医療機関にかぎり、様々な相談を聞いていただいています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	利用者の入院時には、早期回復或いは状態安定を応援する為に、情報交換を行っています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		○	終末期のあり方などについては、出来るだけご家族の意向に沿う様行っ てゆくつもりですが、終末期における医療機関による支援体制が整って いない今後体制が出来る様交渉してゆきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。		○	終末期のあり方などについては、出来るだけご家族の意向に沿う様行っ てゆくつもりですが、終末期における医療機関による支援体制が整って いない今後体制が出来る様交渉してゆきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。		○	居宅へ移り住むケースが無かった為、実行されていませんが今後そのようなケースが発生した場合情報交換をおこないます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	本人に合わせた口調や言葉を取り入れ一人一人に合わせた対応をしている。本人が目を通して支障の無い記入をしています。又記録等の保管場所を定め記録・情報の持ち出しが行われない様徹底しています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	朝の着替えや入浴時の交換衣服、飲み物や取り入れてほしい事など自己決定を行ってもらう様支援しています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	そのつど本人の要望を聞き希望に沿った支援を行っています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	協力理美容室がありますが、ご本人がしているお店があるばあいにはご家族に対応をお願いしています。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	本人が出来ること、出来ないことを十分に把握し又その日の心身状況を考慮し自尊心を傷つける事の無いよう配慮し楽しんでもらえるよう支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	現在のところ、タバコやお酒を楽しまれる方は居りませんが、年間の行事の中で2～3回程お酒を飲む機会があり楽しんでいただける様支援しています。	○	今後お酒やタバコを嗜まれる方が入居された場合、楽しんでいただける様対応します。(喫煙場所は定めています)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄パターンや時間などをみて声がけし一人一人にあった支援を行っています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人が納得して入浴できる日を決めてもらってます。又入浴拒否があった場合は、声がけのタイミング等を考え入浴が楽しめる様配慮しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	生活のリズムを出来るだけ変えることの無いよう心がけています。就寝前に穏やかな環境づくりに工夫して支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日々の家事、畑、植栽、刺繍、塗り絵行っています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人や家族の希望を考慮した上で保管したり買い物などの支払いに対応を行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	花見やイチゴ狩りなど季節に合ったところへ出かけ草木の色や花等楽しめる様配慮しています。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	本人からの希望の場所によってはご家族と相談をし、ご家族と外出される場合もあります。又図書館等、希望に添った対応を行っています。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば、電話など自由にかけれることは出来ます。又、先日は絵手紙の講習会に参加させていただきました。(町内会主催)		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご本人や家族が特に来訪を拒まなければ、自由に来訪をさせていただいています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		○	ご本人や他の入居者に重大な危険がある場合を除き、身体拘束をしないケアを行っています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間を除き玄関の施錠は行っていません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	特に夜間においては、プライバシーを考え定時或いは随時巡回および見守りを行っています。日勤帯は常にご利用者の動きや所在を把握できるようスタッフ間の連携を生かし安全な生活が送れる様支援しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人一人の状態におうじて鉋やヒゲソリなどを持っていただいています。夜勤帯には包丁等が置いてあるところ或いは、洗剤などの保管庫の施錠を行っています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	消防署による普通救命講習会や防災訓練を行い指導を受けています。又行方不明など緊急連絡網を活用し、捜索方法、通報先についてスタッフ全員が把握できるよう指導しています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	6月に近隣のグループホームスタッフも参加し普通救命救急講習会を開催しました。その中でホームに設置しているAEDの使用訓練も行いました。	○	今後は、近隣のグループホームと共同で訓練を行える機会を増やして行きます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	防災訓練を年2回行っています。	○	防災訓練は、夜間時などさまざまな状況を想定し行い今後訓練の開催回数を増やして行きます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	入居時には、ホーム内外で起こりうる、転倒や今まで経験したヒヤリハットや事故などリスクの説明、入居後は個々がその時々おける心身状態で可能性のあるリスクについて随時説明し、本人とご家族が少しでも安心出来る生活を営めるサポートしています。。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	バイタルや表情、動作など小さな事でも情報を伝え家族や医療機関に相談し対応を行っています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	受診時の説明を各スタッフが理解ができる様周知しています。又医療機関への確認、相談も必要時に行っています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	研修会に参会し知識の向上に努めています。又食生活中では、繊維質の多い野菜、乳酸飲料、ヨーグルトなどの摂取を心がけ、歩行や体操など本人に合った運動が出来る様配慮しています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の歯磨きや歯磨き後の口内確認を行い口腔清潔を保持できるように支援していると共に歯科医師・歯科衛生士の定期訪問を取り入れています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士により立てられた献立により栄養バランスを考えた食事を提供し、摂取状況や嗜好などにより栄養士と相談し献立の調整や調理方法の変更を行っています。又水分量については記録表に記入し摂取状況を把握しています。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種の励行、感染症に関する研修会の参加、マニュアルなどを作成し予防に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	衛生管理マニュアルを設置、衛生講習会の開催を予定しています。又職員の検便検査を定期的に行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	季節の花を植え少しでも明るい雰囲気が出るよう努めています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花や装飾などを施し季節感を作っている。お茶などをいつでも自分で入れられる配慮をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	当ホームは、空間にゆとりがある造りの為、廊下やホールなどに椅子を配置し「居場所」を確保しています。又一階平屋建てなので双方のユニットを自由に行き来が出来ます。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者が使用していた、椅子や家具、お箸、茶碗、湯のみなどを必ず持参していただいています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	必要時には換気を行っています。特に清掃時、シーツ交換などは必ず換気し外気温により急激な温度変化の無いよう配慮して居ます。又各居室には温湿度計を設置している為適度な調整が出来ます。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内随所に手すりを設置し個々の身体機能が少しでも生かされる様配慮し併せてスタッフ間の連携で身体機能をサポートしています。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	居室の入口にはプライバシーに配慮した個々の目印をつけたり、スタッフによる個々の状況(状態)に合わせた誘導を行い混乱や失敗が起こらない様支援しています。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭に畑を設け楽しんでもらったり、野外での食事も行っています。		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
 その人らしい生活ができることを目指しています。